



鮎のつかみどり

会場横を流れる奈良川に放流された3,000匹の鮎を目当てに、子供からお年寄りまで大勢の人が参加。滑る川底と鮎の素早い動きに苦労しながらつかみどりに挑戦していました。

約3万人が来場

雲 ひとつつない秋空の下開催された21日の「でちこんか」当日は、来場者が町内外から約3万人と大盛況。早朝から多くの人で賑わいました。

奈良川河川敷の「びつくり市」には、高知県の南国市をはじめ町内外から出店があり、約90店舗が軒を連ね、特産品や自慢の品々を販売しました。特設ステージでは、小倉カールテット、ダンスチーム広蓮、極真会館愛媛県支部鬼北道場、さきがけキッズ、OYAJI・けんざいバンド、SOUICream、真美福田教室、



多くの子どもが挑戦したビンゴゲーム大会(上段左)、素晴らしい演奏で会場を盛り上げた近永小学校トランペット鼓隊によるパレード(上段右)、親子連れで賑わった愛護班まつり(下段左、中央)、絵画や書道、彫刻などの作品が展示されたきほく美術展(下段右)

もちまき オープニングとフィナーレを飾ったもちまき。



ステージ 8団体が出演し歌や踊りなどで観衆を魅了。

